

平成26年度 第5回 平塚市介護保険運営協議会 議事録

平成27年3月17日(火) 13:30~15:00

平塚市庁舎本館7階 710会議室

出席者(出席委員)

前田副会長 尾上委員 西澤委員 岩本委員 清田委員 岡本委員 大畑委員
柳川委員 小幡委員 内田委員 石内委員 飯田委員 船水委員

(13名出席)

(事務局)

高梨福祉部長 諸伏課長代理 高梨課長代理 佐藤主管
高橋主査 熱田主査 吉川主事

I 平塚市介護保険運営協議会委員委嘱式

公益を代表する片桐勲委員の辞任に伴い、その後任として、西澤昇氏を運営委員会委員として委嘱する。

II 開会

議事に入る前の報告事項

過半数の委員が出席しており平塚市介護保険運営協議会規則第3条第2項により会議は成立。また、傍聴者はなし。

III 議事

報告1 平成26年度介護保険事業の施行状況について
資料1に基づいて事務局説明。

《質問・意見》

要介護認定者の介護サービス利用割合について、平成26年4月から9月の平均で84.0%と示されているが、ホームページ等で公開されているものでも構わないので、国や他市町村と比較できるとよい。

<事務局>

検討させていただく。

《質問・意見》

この利用割合が上がることにより、介護給付費の増加、介護保険料の上昇等につながるのか。

〈事務局〉

利用割合が上がることもその事由のひとつとして考えられる。

《質問・意見》

第1号被保険者数については、国の事業年報と比較等を、また、制度改正をふまえ、施設サービスについては、要介護度別の人数を示されると理解しやすい。

〈事務局〉

検討させていただく。

報告2 平成27年度介護保険事業特別会計予算について
資料2に基づいて事務局説明。

《質問・意見》

地域支援事業費について、前年度と比較して介護予防（一次予防事業：高齢福祉課）が減額となっているのはなぜか。

〈事務局〉

国の施策変更に伴い事業の費用が減額された面がある。

《質問・意見》

包括支援事業費（高齢福祉課）が前年度から28%増加しているが、地域包括支援センター増設のためと考えてよいか。

〈事務局〉

来年度は、地域包括支援センター2か所（富士白苑、あさひ）について準備を行う。人員等の配置の関係に予算を費やすため、増額となっている。

《質問・意見》

地域包括支援センターは8か所あるが、各地区の被保険者数には違いがあるので、人数差を勘案した人員配置をしてほしい。

〈事務局〉

検討させていただく。

《質問・意見》

一般公開される予算書については、第1号被保険者の保険料が歳入のどこに充当されているのかわかるような資料となればよい。

〈事務局〉

予算科目に内訳をつけるのは難しいところがある。

報告3 平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画〔第6期〕）について
資料3に基づいて事務局説明。

《質問・意見》

完成後の計画冊子の配布先を教えてください。

〈事務局〉

公民館、地域包括支援センター等に配架予定である。

〈事務局〉

介護サービス利用者数は、平成27年度9月末日現在の8,379人から、平成37年度には11,300人にまで増加すると推計している。また、75歳以上の人口が増加すれば給付費も増加し、保険料の上昇も見込まれる。必要な方に対しては適正な保険給付を行うが、一方で、地域包括支援センターの増設等も含め、要介護者を減少させるよう介護予防事業も推進していく。

IV その他

平成27年度介護保険リーフレットについて
資料4に基づいて事務局説明。

《質問・意見》

どのように全戸配布されるのか。

〈事務局〉

リーフレットを全戸へポスティングする予定である。

《質問・意見》

地域包括支援センターについて、市民からの認知度が低いのではないか。今後
も、周知を徹底してほしい。

介護保険運営協議会委員の改選及び公募について
事務局より説明。

《質問・意見》

特になし。

IV 閉会